

進路だより

第2号 R7.2.28
愛知県立三好特別支援学校
進路指導部

今回の進路だより第2号では、高等部の卒業生の様子、中学部のチャレンジ体験と進路情報連絡会について報告します。本校の進路指導について知っていただき、お子さんの将来を考える参考にしてください。

～高等部卒業生の様子から～



昨年度の高等部卒業生が社会人になり、間もなく1年となります。進路先を訪問し、卒業生が頑張っている点や、こうした方がよいというアドバイスについてお話を伺いましたので、その一部をお伝えします。

【頑張っている点】

企業

- ・挨拶が社内で一番よくできており、好感がもてる。
- ・職場のメンバーと協力して仕事に取り組むことができている。休日に遊ぶ関係の方もいる。
- ・作業でうまくいかないことや機械の不調など、必要なヘルプを自分から職員に伝えることができている。

障害福祉サービス事業所

- ・少しずつスタッフや同僚、仕事に慣れてきたことで、周囲の会話にも参加し、楽しく過ごすことができている。
- ・遅刻や欠席がなく、真面目に仕事に取り組むことができている。
- ・親離れ、子離れができており、本人にも自立したいという気持ちが育っている。

【アドバイス】

企業

- ・実習中は仕事に全力で取り組むことができたが、入社後も毎日全力で取り組み続けることは、精神的・体力的に難しい。無理のない範囲で精度の高い仕事ができるようになってほしい。
- ・悩みを一人で抱え込み、負担になってしまうことがあった。家庭のサポートがとても重要になる。常にお子さんの様子を気にかけ、話を聞いて助言をしたり激励をしたりしてほしい。

障害福祉サービス事業所

- ・食事や排せつ、着替えなど、自分でできることは自分でやるようにしておくことよい。
- ・社会に出たら、親離れ、子離れをしていくよう促している。学校にいる間に意識して、徐々にできるところから手を離していけるとよい。

この他にも多数の意見を伺いました。上記のようなことを意識して、御家庭でも取り組んでいただけるとよいと思います。生徒たちが長い人生をよりよく生きるためのヒントになればと思います。

WAMNET

～WAMNET（ワムネット）をご存じですか？～

居住地にある福祉事業所が検索できるサービスです。所在地やサービスなどの条件ごとに検索ができます。便利ですが情報が最新でなかったり更新が滞っていたりすることがありますので、事業所探しの一助としてご活用ください。進路に関する情報収集は早めから動き出すと余裕ができます。

キーワード “ WAMNET 事業所検索 ”

<https://www.wam.go.jp/sfkohyoout/COP000100E0000.do>



中学部 3 年生チャレンジ体験

1 月 23 日（木）に、豊田市にある「ハートランド豊田の杜」「ハートピア豊田の杜」で見学と体験を行いました。両施設のご厚意で、ハートランドでは、箸の袋詰めやワッシャーの組み立て作業と缶つぶしをハートピアでは利用者さんと一緒に音楽活動を体験させていただきました。生徒から、「いつお休みですか？」と質問がでました。祝日も仕事をすることを聞き、生徒は驚いた様子でした。その後、本校高等部を卒業した先輩が働くカフェで昼食をとり、先輩が給仕をする様子を見て、「こんな仕事をやってみたい」という気持ちが芽生えた生徒もいました。将来の自分像について考えるきっかけになったようです。



空き缶つぶし



ワッシャーの組み立て



カフェでの昼食

中学部 2 年生進路情報連絡会

1 月 30 日（木）に、中学部 2 年生の保護者と、1 年生で希望された保護者を対象に、高等部卒業生の保護者から進路決定までの流れや卒業後の生活などの経験談をお話いただきました。先輩のお母さんからのアドバイスの一部を紹介します。

質問:現在どのような 1 週間を過ごしてみえますか？（現在、平日は障がい者共同住宅に入居されています。）

→起床は 6 時。9 時～9 時 30 分に、事業所のお迎え。16 時に帰宅。

現在は、平日（月～金曜日）は障がい者共同住宅で生活し、土日は帰宅。

※在学中は、放課後等デイサービスを利用していたため、帰宅時間が 18 時近くでしたが、卒業後は帰宅時間が早くなります。その時間をどう過ごすかを考えておくといいですね。

質問:障がい者共同住宅に入居されたきっかけについて

→在学中は、グループホームの見学はしていました。「いつかは入れたらいいな」と漠然と思っていましたが、あるとき、お世話になった方のご葬儀がありました。しかし、息子を預ける場所がないことから参列することを断念した悔しい経験がありました。それをきっかけに動き出しました。

いろいろ見学して現在利用している「障がい者共同住宅」を知り、数回体験会を実施し現在に至っています。本人がとても気に入ったことが決め手です。

※グループホームと障がい者共同住宅の違い

グループホーム : サービス利用として受給家賃補助が国から出ます。豊田市の場合は、共同生活援助があります。支援員が主に夜間、日常生活上の援助や食事・入浴等の介護や家事を行います。

障がい者共同住宅: サービス利用ではなく、家賃補助が出ない。1 室を借り、ヘルパーさんを個人で雇って支援していただく。

質問: 中学部卒業までにどんな経験をしてみえましたか？

- ①ショートステイの利用 ② 18 歳になってから利用する病院への通院（内科、耳鼻科、歯科など）
③事業所見学・体験 ④自分でできることを増やす。

卒業生保護者からのエール

卒業すると「学校にいるときは、守られていたなあ」と痛感しました。守られているうちに、利用できるものは、利用してください。そして、学年関係なく、情報を共有できる仲間を作っていくいいと思います。私もみなさんの仲間です！

